



暑中お見舞い申し上げます

射水市議会議員一同

▲太閤山ランドあじさい祭り

7月

19日 広報委員会
27～28日 議会運営委員会行政視察

30日 議会運営委員会、議会運営委員会
29日 予算特別委員会
28日 予算特別委員会
26日 議会改革特別委員会、
港湾振興特別委員会、
産業建設常任委員会
22日 民生病院常任委員会
21日 総務文教常任委員会
20日 予算特別委員会
19日 本会議(般質問)
16日 本会議(代表質問)、議会運営委員会、
広報委員会
12日 議会運営委員会、本会議、全員協議会
7日 議会改革特別委員会専門部会

6月

1日 議会報告会(産業建設常任委員会)
5日 議会運営委員会、全員協議会
7日 議会改革特別委員会専門部会

30日 議会改革特別委員会専門部会、
議会報告会(総務文教常任委員会)
17日～19日 民生病院常任委員会
行政視察
16日～18日 産業建設常任委員会
行政視察
15日～17日 総務文教常任委員会
行政視察

5月

8日 議会運営委員会、全員協議会
10日 議会運営委員会、本会議、
総務文教常任委員会、
予算特別委員会

市議会のこころ

代表質問



【自民射水の会】
高畑 吉成 議員



1 片山学園初等科周辺の文教ゾーンとしての発展について

2 こども家庭庁創設に伴う本市の対応について

3 教職員の働く環境について

問①▶ 片山学園初等科周辺を文教ゾーンとして発展させていくための市長の思いと今後の取組内容について伺う。

答①▶ 片山学園が立地する当地区は、高等教育機関や試験研究機関のほか、図書館や文化ホール、運動公園等の文化・スポーツ施設といった多様な都市機能が集積しており、子ども達や学生など多くの人々が集い、学び、活動する環境が整った文教ゾーンとしての高いポテンシャルを備えた魅力あるエリアであると認識している。学園の開校を契機に、多様な世代における更なる交流を促し、多くの世代の子どもや学生が学びの機会に触れ、夢を叶えられるまちづくりを推進することが、文教ゾーンとしての発展に欠かせないものだと考えている。多様な世代から選ばれるまちを目指し、当エリアの更なる魅力向上と地域の価値向上に努めていく。

問②▶ こども家庭庁創設に伴う本市の対応について伺う。

答②▶ 国においては、本年4月にこども家庭庁を創設し、「異次元の少子化対策」とともに、貧困や虐待防止対策の強化に向けた取組を進めている。その中で、児童福祉法改正により

「こども家庭センター」設置の努力義務が設けられ、本市では来年4月の設置を目指し、準備を進めている。

これは、子育て支援課内の「子ども家庭総合支援拠点」で実施している虐待・ひとり親・貧困等への支援機能と、キッズポートいみず内の「子育て世帯包括支援センター」で実施している妊娠・出産・母子総合相談等の支援機能を併せて、児童福祉と母子保健の一体的支援機能を備えるものである。妊娠時から保健師や家庭児童相談員などによる伴走型支援が可能になるほか、**ヤングケアラー**^{*}の相談窓口としても明確化し、教育委員会等との連携強化を図りながら、多様な家庭環境に対応した支援体制を整備したいと考えている。同時期にスタートする重層的支援体制整備事業と併せて実施し、地域共生社会の実現を目指していく。

問③▶ 学校現場において、福祉部門との連携や福祉の力を導入し、教職員の負担軽減に努める必要があると考えるが、見解を伺う。

答③▶ 少子化や地域の人々とのつながりの希薄化の影響による子ども達の社会性の低下に加え、発達障害や貧困といった福祉的な課題の増加や、家庭の多様な価値観等を背景に、学校が抱える課題は多様化・複雑化しており、対応に困難を極めている現状がある。社会福祉面における課題に対する教員の知識や経験は十分とは言えず、ときに、保護者等とのトラブルや学校への不信感の高まりの原因となることもあり、教員の精神的な負担につながっている。学校側が様々な福祉サービス等の内容を理解し、教育と福祉それぞれの専門性を生かした連携を実践することで、教職員の負担軽減を図っていく。

その他の質問

- エネルギー価格・物価高騰による市民の生活への影響と対策について
- 資材・人件費高騰による公共工事への影響について
- 市内経済の活性化について
- 防犯体制の強化について
- 市職員の働く環境について
- DXを活用した電子地域通貨の導入について

* の用語については、最終ページに解説があります。

一般質問

1 災害予防対策について

2 AI（人工知能）の利活用について

3 公共施設個別施設計画について



西元 勇司 議員

問①▶ 地震等の災害時において、住宅を失われた方が市営住宅等に入居する際に要する日数と現在入居可能な世帯数について伺う。

答①▶ 電気・水道等のライフラインに問題がなければ、当日からでも入居は可能である。また、入居可能な世帯数は、現在10世帯である。

問②▶ 児童生徒のAIアプリ活用の思考や読解力に対する見解について伺う。

答②▶ 安易に答えを導き出すことや偏った情報のみから思考・判断することがないように指導することが大切であると考えている。

問③▶ 市民ホール施設の統廃合と

PFI事業・複合施設化の方向性について伺う。

答③▶ 今後実施予定のサウンディング型市場調査において、施設を集約する場合の整備方法や運営方法のほか、民間施設との複合化や既存施設の利活用など、これまでの報告で示した方向性にこだわらず、多様な事業者から意見を募集し、民間活力の導入の可能性や様々なニーズを見出したい。



一般質問

1 国民健康保険の高額療養費の申請簡素化について

2 選挙投票時の支援カード等の導入について

3 ジェンダー平等の推進について



不後 昇 議員

問①▶ 国民健康保険の高額療養費の申請簡素化について伺う。

答①▶ 滞納者への接触機会の逸失や、レセプト情報のみで決定することによる誤支給のおそれなど、県や他市町村とともに、簡素化する場合の課題やその対応について協議しており、よりよいあり方を検討していく。

問②▶ 選挙投票時の支援カード等の導入について伺う。

答②▶ 「投票支援カード*」及び「コミュニケーションボード」の導入は、選挙人を支援する有効なツールだと考える。先進的自治体の事例を参考に、これらの導入について検討

し、誰もが投票しやすい環境づくりに取り組んでいく。

問③▶ 選択的夫婦別姓の導入について伺う。

答③▶ 本市においても、選択的夫婦別姓制度は、家族のあり方や個人の生き方と関係する重要な問題と捉えており、国において、国民の幅広い理解の下に検討を進められるものと考えている。

その他の質問

- 市営住宅入居時の保証人について
- 大活字本の普及促進について
- こどもファスト・トラックの普及について

一般質問

1 国民健康保険税の値下げについて



根木 武良 議員

問① i ▶ 国保税を協会けんぽ並みに下げるべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答① i ▶ 本市の国民健康保険事業は、厳しい財政運営が続いている。所得の低い世帯には、保険税の軽減による負担軽減を図っており、本市単独での保険税引下げは困難と考えている。

問① ii ▶ 国保税の均等割や平等割の廃止、中でも未就学児の均等割を全額軽減すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答① ii ▶ 国保税は、被保険者全体で制度を支える観点から、所得に応じた所得割、人数に応じた均等割及

び世帯に応じた平等割のバランスをとることで負担の公平性を図ることとされている。令和4年4月から未就学児の均等割は5割軽減となり、その軽減分は国・県・市により全額公費で賄われている。均等割と平等割の廃止は、負担の不公平を招いて適当ではなく、また、未就学児の均等割全額軽減を市単独で措置することは困難と考える。なお、全国市長会等を通じて、財政支援の拡充等を要望していく。

その他の質問

- マイナンバーカードについて
- 小・中学校の給食費の無償化について

一般質問

1 シニアカー購入補助金について



石田 勝志 議員

問① i ▶ 高齢者運転免許自主返納支援事業のメニューに「シニアカー※購入補助金」を追加してはどうかと考えるが、見解を伺う。

答① i ▶ 現在のところ、シニアカー購入に対する補助金を支援内容に追加する予定はないが、高齢者の外出支援という観点も踏まえ、幅広く調査、研究していく。

問① ii ▶ シニアカーを含む電動車椅子対応の歩道整備について、見解を伺う。

答① ii ▶ 歩道の整備については、道路構造令や国土交通省の「道路の移動等円滑化に関するガイドラ

イン」に基づき行っている。また、射水市バリアフリーマスタープランにより、生活関連経路に位置付けた歩道については、幅員の拡幅や段差の解消等によるバリアフリー化を順次行ってきた。今後とも、シニアカーや電動車椅子を含む全ての利用者が安全で快適に通行できる歩行空間の確保に、引き続き努めていく。

その他の質問

- 学校行事の今後について
- 街路樹等の腐食による倒木の危険性について
- 集落支援員配置について

一般質問

1 観光協会及び観光・定住課の事務所移転について



寺岡 伸清 議員

問① ▶ 観光・定住課の事務所移転について、本市の考えを伺う。

答① ▶ 今回の事務所移転に関し、今日のデジタル技術の急速かつ大きな進化により、ワンストップ行政の推進で目指した効率的で質の高い市民サービスの提供は可能であり、その整合性は十分図られているものと捉えている。観光資源が集積する新湊地区において、行政と観光協会、将来的には民間事業者も参画しながら地域活性化に取り組む体制を整備する。また、全市的な課題である移住・定住施策については、事務所移転後も引き続き

一部のエリアに偏ることなく、本市における暮らしの特徴や魅力を伝えながら、支援していく。なお、市の外郭団体である観光協会の運営に対しては、適時指導、助言するなど、規律をもって適正に対応できるものと考えている。



その他の質問

- 市出資法人に対する指導等について

一般質問

1 夏野市長の政策変更（観光・定住課の事務所移転）について



西尾 哲 議員

問① ▶ 夏野市長は、本庁舎建設時に分庁方式の問題点等を解消するため、公平性に配慮し、市の中心部に行政機能を1箇所に集約する統合庁舎建設への理解を求め、実現された。いずれは大島分庁舎を集約する大きな政策であるが、一部行政機能を今般移転される理由と、市長が思い描くビジョンについて伺う。

答① ▶ 観光資源が集積する新湊地区において、行政と観光協会、将来的には民間事業者も参画しながら一体的・集中的に地域活性化に取り組む体制を整備することで、観光需要の拡大や地域経済の循環

促進を図るため、既成概念にとらわれることなく、挑戦的に取り組むものである。市民の幸せと本市の発展を一番の柱とする私の政策を変更するものではなく、直面する課題に対し、より事業効果を高めるための方策である。

その他の質問

- 交流人口拡大に向けた取組について
- 海川野里山などの豊かな自然を活かした農泊の実施検討について
- デジタル市民窓口について
- 射水市民賑わい創出について
- 物価高騰の対応について

一般質問

1 海老江海浜公園及び海水浴場の今後の方向性について

2 小学校高学年での教科担任制の実施について

3 自転車用ヘルメットについて



杉浦 実 議員

問①▶ 担い手の高齢化により、地元による公園管理が厳しくなることを踏まえ、今後の管理運営に係る見解を伺う。

答①▶ 海水浴場も含めて、マリンスポーツやキャンプ場など、年間を通して事業収益を維持管理に還元する仕組みが必要と考えており、新たに管理運営を担う運営団体の設立や民間活力の導入に向けた手法について、県と連携して調査、研究していく。

問②▶ 小学校高学年での教科担任制*について伺う。

答②▶ 保護者からの学校評価では、教科担任制の導入も含めて「子どもの姿から授業が分かりやすいと

感じている」など、どの学校も高い評価を得ている。現場の教員からは、「授業準備の時間に余裕が生まれ、他の業務に時間を充てることができた」などの意見があり、一定の効果があったと捉えている。

問③▶ ヘルメット購入助成について伺う。

答③▶ 自転車安全利用の観点から、本市における着用状況や先行導入団体の事例も参考にしながら検討していく。



一般質問

1 地域と学校とのかかわりについて



山本 満夫 議員

問①▶ コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入について、丁寧な説明を求める声や、拙速は避けしてほしいとの声を聞いている。これらの地域の意見を踏まえ、学校運営協議会をどのように設置していくのか伺う。

答①▶ 現在検討している学校運営協議会の体制は、委員として、地域の住民、児童生徒の保護者の代表者など、現在の学校評議員の方々や、地域学校協働活動を行っている方から選任したいと考えており、人数は15名以内、任期は1年で、再任は妨げないものとするを想定している。今後、学校運営協議会の設置

に向けて協議を進めていくが、今年度は、学校や地域、各団体に対してコミュニティ・スクールの目的や仕組みなどについて丁寧に説明し、周知しながら学校や地域の実情に応じた組織づくりを進め、令和6年4月には、半数以上の市立の小・中学校における学校運営協議会の設置を目指していく。



その他の質問

●市民後見人について

一般質問

1 休日の中学校部活動地域移行について

2 シルバー人材センターについて



金 賢志 議員

問①▶ 中学校の休日の部活動地域移行に向けた課題及び対応並びに総合型地域スポーツクラブとの連携について伺う。

答①▶ 指導者の確保、練習会場までの生徒の移動に伴う保護者負担、財源確保などの様々な課題解決に向け、関係団体や保護者の協力も含め、国・県に対して財政支援を継続的に働きかける必要があると考える。また、部活動の地域移行を契機として、校外活動における多様な可能性が今後見込まれることから、総合型地域スポーツクラブや関係団体と連携しながら、生徒にとってよりよい文化・スポーツ環境となるよう取り組んでいく。

問②▶ シルバー人材センターへの本市としての支援について伺う。

答②▶ 高齢者の方々が長年培ってきた知識や経験を生かすことができるシルバー人材センターの役割は重要であると認識しており、今後とも運営を支援していく。



その他の質問

●サイクリングコースについて
●みどりの食料システム戦略におけるCO₂ゼロエミッション化の取組について

一般質問

- 1 本市農業について
- 2 本市学校教育について
- 3 中小企業支援について



大垣 友和 議員

問① i ▶ 有機農業の普及拡大に向けた中長期的な取組について伺う。

答① i ▶ 人材育成、栽培技術の確立、農地の確保、販売機会の多様化、消費者の理解増進等について、先進事例や最新の知見を調査研究していく。

問① ii ▶ スマート農業の課題について伺う。

答① ii ▶ 作業の省力化や収量、品質向上が期待される一方、導入コストが高いことや、高齢の農業者がデジタル機器の操作に不慣れな場合が多いことなどの要因で、普及が進んでいない。国・県の補助制度を活用し、導入の促進を図っていく。

問② ▶ プログラミング教育^{*}について伺う。

答② ▶ 「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付ける」ことを目的とし、児童生徒の秘めた可能性を発掘し、将来の活躍のきっかけとなることも期待できる。

問③ ▶ 労働力不足解消について伺う。

答③ ▶ 本市雇用対策推進協議会の新たな取組として、企業PR動画の制作経費の一部を助成し、採用活動を支援する。今後も、施策の充実に努めていく。

おめでとうございます

議員表彰



写真左から 奈田議員、高橋議員

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から永年勤続の表彰を受けられた議員へ、6月定例会本会議において、議長から表彰状が伝達されました。

【在職20年以上表彰】

高橋 久和 議員
奈田 安弘 議員

注) 市議会議員になる前に町村議会議員であった場合は、その期間の2分の1を在職期間に加えて計算します。

令和4年度 政務活動費の交付状況を公開しています

政務活動費の使途の透明化を図るため、令和4年度政務活動費に関する収支報告書及び領収書を公開しています（議会事務局の事務所に備え付けるほか、市議会ホームページでも閲覧可能です。）。

政務活動費は、「地方自治法」及び「射水市議会政務活動費の交付に関する条例」の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されています。

交付対象 議員個人

交付額 月額5万円（年額60万円）を上限
※四半期ごとに議員が支払った実費に基づき精算払い（後払い）

交付実績 交付決定（上限）額 13,150,000円
交付確定（実績）額 7,359,806円 → 執行率56.0%
（参考：令和3年度執行率48.1%）





総務文教常任委員会

令和5年5月30日19時から救急薬品市民交流プラザにおいて議会報告会を行いました。「子どもたちの教育環境について」をテーマとし、皆さまと意見交換をしました。54名の参加がありました。

▼主な意見

※8つの小テーマに関し、12のグループに分かれて、ワークショップを実施しました。そのうち、「コミュニケーション・スキルについて」の主な意見は、次のとおりです。

(課題など)

- ・導入のねらいなど、詳しく知りたい。
 - ・メンバーの固定化への懸念
 - ・学校運営への認識不足や、学校、保護者、地域の3者の連携に関する不安
 - ・導入までのスケジュールや時間の確保への心配
- (期待することなど)
- ・地域全体で子どもたちを育てる雰囲気醸成される。
 - ・子どもたちが地域を元気にするきっかけになる。
 - ・地域と学校の結びつきや連帯感を高める。
 - ・参加者全員が意見を言える場であってほしい。



産業建設常任委員会

令和5年6月1日19時から射水市役所本庁舎において議会報告会を行いました。「本開発地区土地区画整理事業内公園について」及び「道の駅周辺エリア宿泊施設誘致事業について」をテーマとし、皆さまと意見交換をしました。40名の参加がありました。

▼主な質疑・意見

問 本開発地区の公園について、障がい者用の駐車場ほどの程度あるのか。

答 現在のイメージパースによると、一般の駐車場が5台、ユニバーサル駐車場が2台であるが、委員会でも台数について、多数の意見が出ており、その意見を踏まえて検討していくとのことであった。

問 新湊博物館や測量庭園では、残念ながら地元でも価値が薄れている。ホテルを建てれば人が来るという発想ではないか。

答 そのとおりであり、エリア一帯の構想段階であるため、先進事例に鑑みながら、当局に投げかけていきたい。



民生病院常任委員会の議会報告会は、令和5年8月4日に大門高校の生徒を対象に、社会問題や身近な問題について、意見交換します。対象生徒以外の参加はできませんので、ご了承ください。なお、当日の詳しい内容については、次回発行の議会だよりでお知らせします。

総務文教常任委員会

議案4件を可決すべきものとなりました。所管事務について6件の報告を受けました。

公共施設及び

未利用市有地等に関する

民間提案事業の実施について

射水市が保有し、管理する公共施設等の利用や維持管理に関して、民間事業者のアイデアやノウハウを生かした提案を広く募集し、市民サービスの向上、地域経済の活性化及び市の財政負担の軽減などに資するため、当該事業を実施するもの。

問 昨年度に引き続いて第2回目となる

が、第1回目の事業実施による効果をどう評価しているのか伺う。

答 昨年度は、当該制度の初年度ということもあって多くの提案があり、受け付けた12提案全てを採択できた。従来的一般競争入札や公募型プロポーザルに民間からの提案の事業化を図る新たな手法を加え、今後の公民連携の推進を図る上で幅が広がったことが大きな効果である。具体的な効果としては、例えば、公共施設照明のLED化や水道用節水器具の導入によるコスト削減効果などが今後表れてくるものと考えている。

民生病院常任委員会

議案5件を可決すべきものとなりました。所管事務について8件の報告を受けました。

射水市営駐車場条例の

一部改正について

(議案第34号)

公の施設の管理を指定管理者に行わせようとする場合、普通地方公共団体が条例で定めることとされているため、本市条例について所要の改正を行う。

主な改正内容

射水市営駐車場に係る指定管理者制度の導入に対応するため、指定管理者による管理規定を追加する。

問 市営駐車場に指定管理者制度を導入する

具体的な理由を伺う。

答 公共施設や未利用市有地等について、民間事業者の提案を募集したところ、市営駐車場の管理運営のほか、カーシェアリング等の付加サービスによる、まちの新たな魅力の創造について提案があった。民間提案事業審査委員会で審査された結果、事業化に向けた協議提案として選定されたため、令和6年度から市営駐車場に指定管理者制度を導入することとしている。

産業建設常任委員会

議案5件を可決すべきものとなりました。所管事務について6件の報告を受けました。

市道路線の認定について

(議案第39号)

都市計画法の規定に基づく開発行為による道路の帰属及び住民に密着した生活基盤の充実を図るため、6路線を市道路線として認定するもの。

問 市道認定することによって何が変わるのか。

答 修繕や除雪などの維持管理を市が主体となつて実施することとなる。

問 過去に廃止となった路線はあるのか。

答 土地区画整理事業等に伴う新たな道路の設置により、既存路線の機能がなくなつたことから廃止した路線はあるが、それ以外の理由で廃止した路線はない。



総務文教常任委員会

5月15日から5月17日にかけて、福岡県糸島市、佐賀県唐津市及び福岡県那珂川市に県外行政視察へ行ってきました。

視察内容

- 福岡県糸島市…近隣大学との連携について
- 佐賀県唐津市…公共施設マネジメントについて
- 福岡県那珂川市…コミュニティ・スクールについて



近隣大学との連携について
糸島市役所

公共施設マネジメントについて
唐津市役所



民生病院常任委員会

5月17日から5月19日にかけて、福島県郡山市、福島県伊達市及び宮城県岩沼市に県外行政視察へ行ってきました。

視察内容

- 福島県郡山市…要介護認定事務におけるDXの取組について
- 福島県伊達市…伊達市版ネウボラ事業について
- 宮城県岩沼市…デジタル窓口について



伊達市版ネウボラ事業について
伊達市役所

デジタル窓口について
岩沼市役所



産業建設常任委員会

5月16日から5月18日にかけて、北海道恵庭市、北海道札幌市及び北海道千歳市に県外行政視察へ行ってきました。

視察内容

- 北海道恵庭市…道と川の駅 花ロードえにわについて
- 北海道札幌市(ホクレン)農業協同組合連合会…輸出用米について
- 北海道千歳市…千歳市の水道事業について



輸出用米について
ホクレン
農業協同組合連合会

千歳市の水道事業について
千歳市役所





- 主な事業**
- エネルギー価格・物価高騰対策支援事業
 - ・ 交通事業者支援
 - ・ 介護サービス等提供支援
 - ・ 民間保育サービス等提供体制支援
 - 新型コロナウイルスワクチン接種委託
 - PHEV自動車等整備事業
 - 大豆・大麦乾燥調製施設再編整備事業補助金
 - 物価高騰対策生活支援・消費喚起事業補助金
 - 統合小学校大規模改造等工事実施設計業務委託

歳入歳出にそれぞれ
5億9300万円を追加し、総額を
392億5900万円とするもの

令和5年度 射水市一般会計予算 (第2号)(議案第29号)

予算特別委員会

質問者及び質問項目

日程	質問者	主な質問項目
6月28日	根木 武良 委員	①マイナ保険証による診療等について ②射水市水道事業について ③観光・定住課の事務所移転について
	西元 勇司 委員	①第3次射水市総合計画前期実施計画の事業の取組内容について
	不後 昇 委員	①本市の防災対策について ②認知症基本法の制定の意義と本市の考え方について ③こども未来戦略方針について
	高畑 吉成 委員	①コミュニティセンター大規模改修工事について
	金 賢志 委員	①お米引き換え事業について ②「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業について ③文化振興費について ④PHEV自動車等整備事業について
	加治 宏規 委員	①放生津小学校、新湊小学校の統合について
	寺岡 伸清 委員	①地域振興会・町内会等の地域団体の維持活性化について
	大垣 友和 委員	①学校のエアコンについて
	西尾 哲 委員	①医師の働き方改革について ②外国人中古車販売業に関する諸問題対応状況について ③DX推進の作業方法について ④さららか射水100歳体操について ⑤ナイトクルーズについて
6月29日	石田 勝志 委員	①原油価格・物価高騰対策介護サービス等提供支援事業について
	中村 文隆 委員	①道の駅周辺エリア宿泊施設誘致事業と博物館の今後の構想について
	中川 一夫 委員	①6月補正予算について ②市政全般について ③その他

6月20日
(説明)



6月28日



6月29日



港湾振興特別委員会

所管事務について4件の報告を受
けました。

【報告事項(4件)の内容】

- 令和5年度港湾・海岸事業の概要について
- 令和6年度射水市重点事業要望(港湾関連)について
- 令和4年度富山新港取扱貨物について
- 富山新港東埋立地Cポンドにおけるダイオキシン類の測定結果

議会改革特別委員会

通年議会については、令和2年12月から検討を続けてきましたが、審議時間を十分に確保できるなどのメリットもあれば、議会における拘束時間の増加により地域での議員活動が制約されるおそれがあるなどのデメリットもあり、議会改革特別委員会として賛否を集約できる状況にないと判断し、導入を一旦見送ることで意見が一致しました。

なお、市の重要課題等において議会と当局との意思疎通を一層強化するため、これまで以上に全員協議会や議員懇談会を活用する旨を議長に報告することを確認しました。

5月臨時会

《会期》5月10日／1日間

議決結果一覧表

[議案]

番号	件名	結果
第28号	令和5年度射水市一般会計補正予算(第1号)	可決

[報告]

番号	件名	結果
第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認
第3号	専決処分の報告について	-

※5月臨時会は、全ての議案等が全会一致で可決(承認)されたため、議員別賛否一覧の掲載はありません。

6月定例会

《会期》6月12日～30日／19日間

議決結果一覧表

[議案]

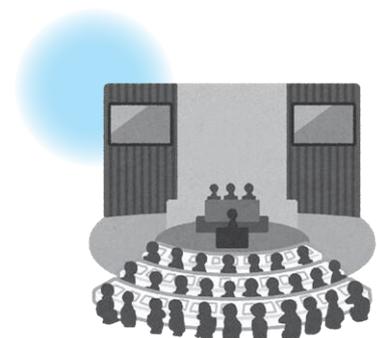
番号	件名	結果
第29号	令和5年度射水市一般会計補正予算(第2号)	可決
第30号	令和5年度射水市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
第31号	射水市職員の特殊勤務手当に関する条例及び射水市消防職員特殊勤務手当支給条例の一部改正について	可決
第32号	射水市市税条例の一部改正について	可決
第33号	射水市印鑑条例の一部改正について	可決
第34号	射水市営駐車場条例の一部改正について	可決
第35号	射水市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
第36号	射水市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	可決
第37号	射水市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決
第38号	射水市都市公園条例の一部改正について	可決
第39号	市道路線の認定について	可決
第40号	中太閤山コミュニティセンター改修(建築主体)工事請負契約について	可決
第41号	射水市衛生センター基幹的設備改良工事請負契約について	可決
第42号	射水市立大門中学校グラウンド改修工事請負契約について	可決
第43号	射水市立中太閤山小学校プール改築(建築主体)工事請負契約について	可決

[報告]

番号	件名	結果
第4号	専決処分の報告について	-
第5号	繰越明許費繰越計算書について(一般会計)	-
第6号	繰越明許費繰越計算書について(介護保険事業特別会計)	-
第7号	事故繰越し繰越計算書について(一般会計)	-
第8号	建設改良費繰越計算書について(水道事業会計)	-
第9号	建設改良費繰越計算書について(下水道事業会計)	-
第10号	建設改良費繰越計算書について(病院事業会計)	-

[その他]

番号	件名	結果
	議会運営委員会、各常任委員会及び議会改革特別委員会の閉会中の継続審査	可決



《議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案について掲載》

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	議決結果	
議員名	石田勝志	大垣友和	西元勇司	西尾哲	金賢志	杉浦実	山本満夫	寺岡伸清	呉松福一	加治宏規	高畑吉成	根木武良	欠員	中川一夫	中村文隆	山崎晋次	不後昇	吉野省三	津田信人	堀義治	奈田安弘	高橋久和		
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

POINT 市議会だより **用語解説**

代表質問・一般質問における用語を解説しています。

ヤングケアラー ▶P2

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

投票支援カード ▶P3

投票所において、代理投票や他の支援が必要な場合に係員へ提示することで、投票に必要な支援を受けることができるもの。

シニアカー ▶P4

高齢者向けに製造された、スクーターに似たハンドル付きの3輪または4輪の乗り物。道路交通法上、歩行者と同じ扱いになり、運転免許がなくても操作できる。

教科担任制 ▶P5

原則として全ての教科を学級担任の先生が指導する学級担任制と異なり、教科ごとに専任の先生が授業を受け持ち、複数のクラスを担当すること。



プログラミング教育 ▶P6

コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができるプログラミングの体験を通じて、コンピュータを理解し、上手に活用していく力を身に付ける教育のこと。



いみず市議会だよりの表紙写真を募集します!



射水市議会では、市民の皆さんに親しまれる市議会だよりづくりの一環として、表紙写真を募集します。



【募集テーマ】 射水市の風景、行事・イベント、人物など

- 【応募規定】**
- 応募者本人が射水市内において概ね1年以内に撮影したもの
 - デジタルデータJPEG形式(概ね4MB以上10MB未満)の横長写真で提供できるもの
 - 未発表のもの、また、被写体が人物や個人の所有物の場合は承諾を得たもの

【応募資格】 射水市に在住、在勤または在学の方

【応募期間】 令和5年9月25日(月)まで(※必着)

【選考方法】 市議会広報委員会で応募写真を審査します。

【掲載】 市議会広報委員会で選出された写真を表紙に採用します。採用された写真には、応募者の氏名、写真のタイトル及び撮影場所を掲載します。(氏名の掲載を希望しないことも可) なお、使用に当たっては、トリミングなどの画像処理をすることがあります。

【その他】 応募方法などの詳細については、市議会ホームページでご確認ください。

- 広報委員会 **【委員長】** 中村 文隆 **【副委員長】** 高畑 吉成
【委員】 加治 宏規、山崎 晋次、津田 信人、堀 義治、奈田 安弘、高橋 久和

9月定例会は、9月4日(月)から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課(TEL 51-6610)までお問い合わせください。



傍聴者数

5月臨時会
 本会議 … 3人
 委員会 … 5人
合計8人

6月定例会
 本会議 … 23人
 委員会 … 18人
合計41人